

# 5 Saxophone Soloists Program & Program note

## AICHI SAXOPHONE SOLOISTS VER.2008

### ☆J.S.バッハ (1685~1750) 堀江裕介編曲 トッカータとフーガ より

約300年前、バロック時代にドイツで活躍した、言わずと知れた大バッハ。生涯に残した1000曲以上の作品の中でも取り分け有名なこのトッカータとフーガですが、原曲はパイプオルガンのために書かれています。トッカータというのは、速いパッセージや細かい音符で技巧的に聴かせる表現が特徴です。フーガは、同じメロディが他の声部で追って現れる、バロック時代にバッハが確立したと言っても過言ではない重要な音楽様式です。今回はトッカータの部分を、サクソ5本のパイプオルガンを彷彿とさせる重厚な響きでお楽しみください。

### ☆A.マルチェロ (1684~1750) オーボエ協奏曲

こちらもバロック時代のイタリア人作曲家、マルチェロの代表作です。タイトル通り原曲はオーボエと弦楽オーケストラのための作品で、二楽章はイタリアの名作映画、「ヴェニスの上」のテーマにもなり、その甘美なメロディは世界的に有名になりました。今回はソプラノサクソのソロで、2、3楽章をお送りいたします。3楽章は速いテンポの中、リズムカルに駆け抜けるソロとカルテットの掛け合い、そしてクライマックスに向けて、バロック音楽特有の華麗な装飾音符が散りばめられていきます。

### ☆G.プッチーニ (1858~1924) 歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ

フィギュアスケートの荒川静香さんの偉業で、誰もが耳にしたことがある名曲となったこのアリア。このアリアは、最終幕である第3幕で、カラフによって歌われます。第2幕において、カラフはトゥーランドット姫への求婚者にだされる3つの難題を見事に解決しましたが、それにも関わらず、姫はカラフとの結婚に難色を示します。そこでカラフは自分の名前を夜明けまでに当ててみれば、結婚を諦めようと申し出ますが、ただし名前を解き明かせなかったら、カラフとの結婚を姫は承諾しなければなりません。そこで冷酷な姫は自国の国民に対し、カラフの名を解き明かすまでは寝ることを禁ずるというお触れを出し、そしてもし誰も解き明かせなかったら、国民を皆殺しにするとします。第3幕は夜の時点から始まり、カラフは一人、宮殿から月に照らされた庭に出て、そこでトゥーランドット姫のお触れを聞きます。ここでアリア『誰も寝てはならぬ』がカラフによって歌われます。

### ☆J.コスマ (1905~1969) 平井尚之編曲 枯葉

いまやジャズのスタンダードとして名曲中の名曲になっている枯葉。哀愁を帯びた旋律とコード、プレイヤーの個性あふれる自在なアドリブが展開されるこの曲のファンの方も多いと思います。もともとはフランスのポピュラーソング、シャンソンのスタンダードでした。こちらも聴いてみるとなんと切ないメロディーが、フランス語独特の発音で美しく歌い上げられます。今回はジャズサクソ奏者の平井尚之のアルトサクソソロで、新たな枯葉の世界をお送りできたらと思います。

### ☆C.コリア (1941~ ) スペイン

ジャズピアノの巨匠、チック・コリアの代表作であるこの曲は、現在様々な楽器で、様々なシーンで演奏されるようになりました。コリアの録音は数多く残されていますが、中でも、あのマルタ・アルゲリッチの指導者でもあるフリードリヒ・グルダと2台ピアノによる即興演奏パフォーマンスの録音も残っていて、生徒の勧めで偶然にも耳にしたその演奏は、すべての瞬間に興奮を覚えるような、個人的には価値観を覆させられるような名盤でした。今回はコリアのピアノアドリブをサクソ5本で忠実に再現したアレンジで、情熱的で華やかなスペインの世界を表現したいと思っています。

### ☆ 真島俊夫 (1949~ ) シーガル

日本を代表する作曲家、真島俊夫さんの美しい名曲です。もともとはサクソフォンの名手、須川展也氏のために、ソロサクソと弦楽オーケストラのために書かれましたが、ソロサクソと吹奏楽版も出版され、僕もその版で何度か演奏させていただきました。コンサートのアンコールとして演奏することが多く、そのたびにたくさんの方に気に入っていただけた、僕も本当に大好きな曲の一つです。(以上 堀江 裕介)

### アイチ・サクソフォン・ソロイスト ver.2008

アイチ・サクソフォン・ソロイストは、2002年に堀江裕介を中心に愛知県立芸術大学のサクソフォン専攻生で結成され、東海地区を中心に様々なイベント、コンサートに出演。メンバーや編成もその都度自由に変化を伴いながら活動し、今回の2008年ヴァージョンは、ジャズサクソ奏者を含めた五重奏での編成になる。



ほりえ ゆうすけ

#### ☆堀江 裕介

仙台市出身。愛知県立芸術大学を経て、05年同大学大学院音楽研究科修了。同大学卒業演奏会、読売中部新人演奏会、日演連推薦新人演奏会等に出演。在学中より「アイチ・サクソフォン・ソロイスト」を結成し、また、タンゴ四重奏団「En」等のメンバーとして日本各地で様々な演奏会、イベントに出演。大学院1年在学中の2004年に電気文化会館ザ・コンサートホール(名古屋)にてソロリサイタルデビュー。また、2006年にも同ホールでソロリサイタルを開催。2008年にはしらかわホールにて、「名古屋ウインドシンフォニー」と全曲協奏曲形式のリサイタルを開催。ソリストとしてこれまでに、沼尻竜典指揮「名古屋フィルハーモニー交響楽団」、外山雄三指揮「仙台フィルハーモニー管弦楽団」、山田和樹指揮「愛知室内オーケストラ」、松尾葉子指揮「セントラル愛知交響楽団」等と協演。また、オーケストラの客員奏者として、スウェーデンフィルハーモニック管弦楽団(韓国)、名古屋フィルハーモニー交響楽団等、各地のオーケストラに参加。2007年、2008年には「なにわ<オーケストラ>ウインズ」に参加し、大阪、東京で公演。また2005年に結成した「アリオン・サクソフォン・カルテット」が2006年より名古屋、岐阜、三重、浜松、東京等で毎年公演。現在、愛知県立明和高等学校音楽科専任講師。アリオン・サクソフォン・カルテットメンバー。ナゴヤサクソフェスタ実行委員。これまでにサクソフォンを古溝徹、雲井雅人の両氏に、室内楽を中川良平、村田四郎、和久井仁の各氏に師事。



ひらい なおゆき

#### ☆平井 尚之

愛知県一宮市出身。高校入学を機にサクソスを始める。洗足学園音楽大学卒業。その後はジャズの世界にも活動を広げ、現在は中部地区を中心にクラシック、ジャズ両面の演奏活動と後進の指導にあたっている。クラシックサクソを亀井明良、小串俊寿、富岡和男、大和田雅洋の各氏に、ジャズサクソ及びジャズ理論を大森明氏に師事。サクソス合奏団Crooked Horns主宰。

かたば けいこ

#### ☆片田 景子 (左から順に)

愛知県三好町出身。サクソフォンを佐野功枝、雲井雅人の各氏に師事。現在、愛知県立芸術大学3年在学中。

かわい りょう

#### ☆川合 諒

岐阜県土岐市出身。サクソフォンを小山田和美、堀江裕介、雲井雅人の各氏に師事。現在、愛知県立芸術大学1年在学中。

かわい ゆりな

#### ☆河合 佑里奈

名古屋市出身。愛知県立明和高校音楽科卒業。第7回日本ジュニア管打楽器コンクール・サクソフォン部門本選出場。第16回日本クラシック音楽コンクール全国大会・高校木管部門一位なし第3位受賞。サクソフォンを岡田知奈美、堀江裕介、雲井雅人の各氏に師事。現在、愛知県立芸術大学1年在学中。



#### ピアノ

やながせ たかこ

#### ☆柳河瀬 貴子